

令和8年度 第9回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年8月26日（水）午後6時30分～8時13分（103分）
- 2 場 所 天都山丸善会館
- 3 出席者 一般出席者 9人
網走市出席者 9人（市長、教育長、
市民環境部長、建設港湾部長、観光商工部長、
学校教育部長、学校教育課参事、企画調整課長、
広報広聴係長）
町連等出席者 3人（副会長、理事、社会福祉協議会職員）
計 21人
- 4 議事進行 理事
- 5 進行記録
18:30 開会
18:30 市長あいさつ
18:35 町連副会長あいさつ
18:38 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について
19:07 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について
19:30 テーマ(3)どこバスについて
19:50 その他
20:12 市長あいさつ
20:13 閉会

6 質疑など

【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

▼参加者	知り合いから聞いた話だが、今、中学校では中間テストがなく、前期と後期しかないので、子どもたちが範囲が広く大変と聞いた。学校によって違うのか。
（学校教育部長）	網走では、三学期制ではなく、前期後期の二学期制を敷いている。テストについては、中間テストを行う、小テストを繰り返すなど学校によりさまざま。
▼参加者	子供が大変だと聞いたので質問させてもらった。 小学校の運動会で、潮見小では午前だけで1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれで分けて運動会をしてるようで、全部立ち見と聞いた。 南小学校は座って見ているが、潮見小だけが立ち見で親が観覧し、時間差で子どもたちが入れ替わるので、どうなのかなと思った。 昔に戻せとは言わないし、コロナ禍もあつての対応なのだろうが、先生の怠慢という話も聞こえてくる。 勉強だけでなく運動ができる子もいると思うし、そのような方法を取っても学力が上がってるということでもないの、市から見直すよう言えないものか。
（学校教育部長）	コロナ禍で色々と見直されてきた。 過去の運動会は、昼をまたいで行う一大イベントだったが、今はどの学校も全て午前で終わり、潮見小については生徒数も多く、入れ替えをスムーズにするのに立ち見で行っている。 保護者で違和感を感じている方もいるし、学校として考えていかなければならないものなので、声があることは学校の方に伝えている。
▼参加者	子どもたちも上級生の運動会を見ることで、いろんな思いも出てくる。
（学校教育部長）	意見があったことは学校に伝えたい。

▼参加者	学校再編のスケジュールは、2035年の児童数846人に向けて、という認識か。
(学校教育部長)	スケジュールも含めて決定事項ではないが、教育委員会が考える少子化に向けてのものとして、10年後を見据えて進めるもの。
▼参加者	子どもが減る中で、中学生の部活も集約し、人数を集める形になっている。 道内でも当別町で義務教育学校ができたとニュースで見た。人が集約して、人数が集まってくると新たにできることがあるので、そういう方向性だと思う。 気がかりなのは送り迎えで、スクールバスの充実が問題になってくるかと思うので、その辺を踏まえて進めていただければと思う。
(学校教育部長)	通学手段は最大の課題だと思う。 郊外地域はスクールバスで登校しているが、それでも一定の時間がかかる。路線数を増やして、最短な時間で組み込んでも、子どもに負担をかけてしまうので、最大限そこは配慮しながらやっていきたい。 学校再編教育協議会の中で、郊外地域にも学校を残した方がいいのでは、と結論が出れば、それはそのような形で進めていきたいと考えている。
▼参加者	子どもが少ないので仕方ない話だとは思いますが、心情的に、オラが村のオラの学校がなくなったら困るよね、という話で、なんとか残せないかという話かと個人的には思っている。
▼参加者	ここは西小学校の区域で、統合となれば中央小学校に通学となるので、小学校1年生から遠い距離を通学するのは大変。学校現場の職員はどう思っているかを知りたい。 また、計画自体が、早急に決まりすぎなので、見直していただきたいと思う。
(学校教育部長)	中央小学校に通学となれば、西小学校の校区では、大曲や湖の口が遠く、小学校1年生の子が歩いていくのは大変なので、スクールバスのような通学手段の確保が必要と思っている。

教職員がどう考えているかについては、検討協議会や意見を聞く会を開催してきた中で、教職員がどう考えているかの声も受けてきた。

これから、教職員向けのアンケート調査を実施するよう準備を進めており、その中で率直な意見も伺っていきたい。

今お示ししているのは計画ではなく、教育委員会が考える考え方であり、決定事項ではない。

考え方を作った時が昨年の12月で、その時点では3年後だったが、今これを皆さんにお伝えしてる時点で年が変わったので、2年後となった。

2年での統廃合は無理だと思っており、西小学校を中央小学校に統合していく形で進める、ということが決まった段階で何年後に統合、という話が出てくるので、3年後なのか4年後なのか、ということを考えていく。

▼ 理事

潮見小学校の運動会が立ち見と聞いてびっくりした。運動会といえば場所取りから始まる一大イベントなので、昔と違うなと思って、聞いていた。

▼ 参加者

2学年ごとに交代でやっている。

(学校教育部長)

競技2つくらいで終わるイメージの開催。

▼ 参加者

学校が統合になったとき、通学距離が遠くなる話が出たが、スクールバスが出る規定が4km以上と聞いた。
今もその基準で行っているのか。

(学校教育部長)

徒歩で通学できる基準として、小学校で4km、中学校で6kmが目安となっているが、地理的要件もあり絶対ではない。
網走では、郊外地域しかスクールバスは運行されておらず、今後、学校再編が進めば市街地区でも通学距離が伸びるケースが出てくるので、公共のバスを使うかは分からないが、市街地区でもバスを回していかなければならないと考えている。

▼ 参加者

中央小学校まで距離があり、向陽ヶ丘の上り坂もある。
この地区の子だと、坂を降りてさらに歩き、また坂を登っていくので、小学生にはすごく大変だと思う。
大曲から通うとなると、現実的にはバスがないと、と話があっ

たが、小学生1年生の体力を基準にして、西小地区はみんなバスに乗せるぐらいのイメージで、スクールバスを手配していただけたらと思う。

(学校教育部長)

色々な考え方ができると思うので、ご意見を踏まえながら、そ
考えていきたいが、子どもたちが歩くということも大事だと思
っているのも、ドアtoドアのような形は難しいと思っている
。低学年という部分はある程度配慮した形で進めたい。

▼参加者

バスで通学となると、本当に学校に来てるのか来てないのかの
確認が必要ではないか。
幼稚園のバスでは、来た時と帰る時に確認をしている。
朝出ていったけど、学校へ来てるか来てないか確認できないか
と思う。

(学校教育部長)

欠席連絡がないまま、子供が来ないという状況は、学校で連
絡・確認をしている。
幼稚園のバスの乗車方法については勉強させていただく。

▼参加者

運動会の話に戻るが、潮見小学校で1・2年生、3・4年生、5・6
年生だけで運動会を行い、その学年だけしか見られないので、
下級生を上級生が応援するなどができず、人間関係が希薄にな
る気がする。
違う学年同士で応援し合う状況も大事かと思うので、一考して
いただきたい。

(学校教育部長)

コロナ禍で変わっていったことや、教職員の負担もあると思う
が、一方で、保護者からは物足りないなという意見もあるの
で、学校として変えられるところは変えていくよう、伝えてい
きたい。

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について】

▼ 理事	変電所の低音の唸る音が聞こえるが、苦情はないか。
▼ 参加者	音はあるが、苦情があるかどうかは分からない。 ガイドラインの対象判定で屋根は対象外となっているが、雪など対策をすれば設置できると思う。
（市民環境部長）	設置を規制するものではなく、施設の草を伸びたままにしておかない、火災が起こらないようにするなど適正な維持管理や、環境に配慮した設置をお願いするもの。 太陽光発電のエネルギーは有効だと考えており、設置がダメでということではない。
▼ 参加者	ガイドライン対象の判定フローで、出力は10kW以上とあるが、個人の住宅の基本ラインが10kWで、パネル総数のキ口数と蓄電池容量の総数のどちらか低い方が10kW以下であれば個人の住宅用としてつけて良いとなっている。 個人によっては、屋根ではなく広いところで野立にしたいと、いう人もいるが、その場合、個人宅用10kWちょうどでもガイドラインは適用されるか。
（市民環境部長）	日常生活だけに使用する分には対象にならない。
▼ 参加者	最近では、自分で昼間に使用し、余剰電力を売電するのが多い。 費用体効果の関係で、蓄電池はつけないという人もいるが、昔に比べて安くなっているので、つけたい人も増えている。 昼に電気を使って、使い切れないものを売る場合でも、10kW以上は対象になるか。
（市民環境部長）	10kWを超え、野立てで、売電があれば対象になる。
▼ 参加者	パネルが10kW超で、蓄電池が9.8KWの場合はどうか。
（市民環境部長）	パネルが10kWを超えていれば対象になる。

▼参加者	釧路湿原の関係で、社会的な問題になっている。 今のパネルはシリコン系で、30年後、40年後には処分ができるものになっているが、メーカーによっては部材など処分できないものがあるかもしれない。 テレビ等の家電はリサイクルされるよう回収の仕組みがあるが、パネルについても環境を汚さない、負荷をかけないような廃棄の仕組みが考慮されればいいかと思う。
(市民環境部長)	処分にあたっては専門の業者が処理しているが、それなりに費用もかかるので、今回のルールの中で廃棄費用の確保を盛り込んでいる。 設置事業者が、事業破綻していなくなったときにそのまま放置されないよう、定期預金のような形で廃棄費用相当分を積ませて、市が質権を設定し、勝手に下ろせないようにして、何かあった時にはその費用で適正に処理する形を考えている。
▼参加者	住宅用の10kWのパネルで性能がいいのは中国製だが、セッティング用のアプリ使用時に中国を経由するため、情報を抜かれているのではと懸念がある。 実際にはわからない話だが、不安があるということだったので、取り付け等にどこまで口を出せるかはわからないが、国の補助要件などにある登録メーカーを指定するなど、そうした考えも少し持っていたいただければと思う。
(市民環境部長)	中国製品の関係で心配されてる部分はあるかと思う。 今回そこまでの想定にはなっていないが、貴重なご意見として、今後も参考にさせていただく。
▼参加者	東京都知事が貼るタイプのソーラーパネルの紹介をしていたが、そういうものが発展してくれば、網走でも個人住宅で補助事業等を進めていってもらえればと思った。
(市民環境部長)	今後普及していく中で、要望も踏まえて検討していきたい。
▼理事	空き家がほったらかしなので、パネルがそういう風にならないようにしてもらいたい。
▼参加者	昔のパネルは処分できないようだ。

▼参加者	ガイドラインの5つの調和について、名勝天登山から見える風景を大事にしてほしい。 北浜のデンプンの施設が山から見ると、とんでもない四角に見えたりするようなことがあった。 山頂から見る景観は大事にしなければならないので、考えていただきたい。
(市民環境部長)	天都山からの眺望も、景観への配慮として盛り込みたいと思っている。 設置にあたっては周辺住民の意見を聞く機会も設けるようにしているので、そういった地域の方の声もなるべく反映されるような運用になるように、ルールづくりを進めていきたい。
▼参加者	風力発電の風車について、できた経緯や地域説明会を行ったかわからないが、天都の郷クラブでは事業所に来てもらって説明をしてもらった。 クラブでガイドをする人からすると、星空ウォッチングで風車に赤い点灯がつく、大鷲がぶつかる等の問題が出ている。 展望台から見てどの程度の高さに見えるかのシミュレーションもしてもらった。 当該地域に限らず、広範に知らせていただき、意見を聞く場があるようにしていただきたい。 これからどんどん建設されるようなことにはならないと思うが、名勝天登山を守っていかなければならないと思っている。
(市民環境部長)	風力については想定はしていなかったが、今後、計画があった際には、事業者に対して地域に話すよう伝えていきたい。
▼参加者	景観については建設地区だけでなく、広範に関係する方がいるので、しっかり声を聞くことが必要かと思う。
(市民環境部長)	貴重な意見として参考にさせていただく。

【テーマ（3）どこバスについて】

▼参加者	どこバスについて、大曲の監獄付近がBエリアで700円かかる。大曲の住宅街とそう変わらないのに使いづらい。 500円だったら利用できるという人がいる。500円にしてもらえないか。もしくは、CエリアとCエリア間で500円とのことなので、エリアを変えてもらえないか。
------	--

(観光商工部長)

どこバスを始めたきっかけとして、日中の市内路線バスが少なく、代替の交通機関を、という議論からスタートしている。

大曲の湖の口については、観光路線としての位置付けであり、距離的な問題もあるので、現在はBエリアとなっている。
今後、いただいた意見も含めて、料金設定等を公共交通活性化協議会の中で決めていくので、約束はできないが、検討させていただく。

Cエリアは小清水原生花園と浜小清水と距離的に近いところで500円と設定しており、他のエリアからCエリアは観光客設定で3,000円としている。今年10月からの開始なので、まだ運行はしていない。
今後の運行の中で、利用客のお話を聞きながら検討していきたい。

▼ 理事

藻琴が交通の空白地帯で、バスが1時間に1本もなく、コンビニもない。高齢者講習で自動車学校に行った時にどこバスがなかったら、免許返納できないという人もいる。

懇談会が始まる前にも話したが、あと1時間早くバスが運行してくれれば病院にも行けるのでいいなと話をしていた。
パンフレットを見たら、小さい字で運行時間は予告なく変更する場合があるとも書いてあるので、9時からでなく、8時から運行してもらえないかと思う。

▼ 参加者

どこバスは元々、市民の交通手段を確保するという話から始まったものと思っていた。
今の説明では、2台のバスを増やすということが観光客に手厚いものと感じている。

以前、北浜で停留所以降に行く手段がないので、スクールバスを利用して、という話があったかと思うが、その検討はどうなったか。

(観光商工部長)

藻琴については、小清水線のバス、東藻琴の観光交通バス、JRの駅があり、便利さに課題があるかもしれないが、ゼロではない状況。

郊外地区については、2年前から郊外の乗合タクシーの実証運行を行っており、市街地に買い物に行ったり、病院に通院する方がいる。

どこバスの市内全域拡大となると、現状の5台では足りず、乗れ

なくなる可能性もあるので、課題として受け決めさせていただきたい。

運行時間については、朝と夕方は通勤通学の時間で、大型バスでないと人を乗せられず、昼間の利用が少ない時にどこバスで効率的な運行ができないかということで始めたもの。

病院の時間もわかるが、路線バスを使う等、使い分けをしていただきたい。

今までタクシーに乗っていた方をどこバスで取ってしまうと、タクシー会社の運営も困ることになるので、地域全体の公共交通活性化協議会の中で検討した結果として、ご理解いただきたい。

▼参加者

スクールバスも利用して、というお話があった気がする。

(学校教育部長)

スクールバスは路線によっては余裕があれば、一般の方も乗車いただくと教育委員会で案内はしているが、今は乗合タクシーの実証をしており、一般の方はスクールバスは使われていないと認識している。

▼参加者

どこバスについては、これだけの人が利用しており、市民の足を確保できてよかったのでは。

(観光商工部長)

観光客の利用が増えてる現状で、市民の利用が圧迫されていることを受け、宿泊税を活用し、2台を増車した。

観光客の2次交通も、観光地として課題となっている。

閑散期には、増車した2台は街中で使えるので、利用者の待ち時間は減ると考えている。

▼参加者

バスの増便に際して、人件費も上がると思うが、市からの補助金も上がるのか。

(観光商工部長)

5台運行で、市で4,000万円を予算計上しており、網走バスの運行、運転時の人件費も含めている。そこから運賃収入を引いても、実際には赤字でプラスにならないので、補填ではないが、補助金として出している。

今回2台増車する分は、10月からの半年分で1,300万を計上。公共交通で黒字とするのはなかなか難しいのが現状。

【その他】

▼ 理事

昨年の懇談会で出された声で会館の駐車場が整備された。
皆さんから意見をお願いしたい。

▼ 参加者

学校再編の意見が9月30日まで募集、と市のサイトを見た。
みんな意見を出していただければと思っている。

高規格道路について、50年前と比べて道が整備されてきた。
整備された道を綺麗に保っていけば高規格道路はいらないと思う。

▼ 参加者

町内会で高齢化が進み、単身者も増えてきた。
街中には高齢者の触れ合いの場所があるが、西コミセンまで行かなければならず、交通手段がないため、行くことができない。
個人宅で、近所の方と集まって話すなど、触れ合いの場が変わるものをやるとしたときに許可はいるのか。

(市長)

許可はなく、個人宅などでやっていただいていいもの。
コミュニティとしては良いものだと思っているが、全てが公共施設でやるのが地域にとって幸せなのかどうかがある。

元気なうちは、家で集まってみんなでお茶を飲むなども良いと思う。
お茶代を自腹でなくてどうにかならないか、というときには何か支援できるかもしれないので、課題として受け止めさせていただく。

子ども食堂というのがあるが、実際問題として、子どもが集まらないので、大人の人も地域の人、高齢者もみんな集まるような、みんな食堂を作ればコミュニティが構築できると思う。
実施はこれからだが、広がりがあると思うので、市の考えるコミュニティ、ご意見のあった地域コミュニティが一緒になって、なにかできれば素敵な地域になると思う。
外でやってもいいと思うし、色々なやり方があると思う。

▼ 参加者

丸善会館も、本来そういう風にあるべきかと思うが、なかなか立ち上げられないのが現状。

(市長)	自分も駒場眺洋町内会にいるが、みんな駒場住民センターに行く。 町内会に、プレハブの集会所があり、昔はお酒などを持ち寄って地域でワイワイやってたが、今は集まっていない。 こういう場所があるだけで、ご飯を食べよう、お酒を飲もうということがある。
▼参加者	知らない間に近所の方が認知症になっていた等を知るためにも、コミュニティは大事にしないとダメだと思う。
(市長)	集まると、最近、あの人の顔を見ない等の話になり、家に呼びに行くなどやっていた。 そうした力が、どんどん高齢化によってなくなってるので、肩を叩きながらちょっとやってみようというのはある。 社協でも取り組んでいる。 色々な機関で相談し、手助けしながらできることをやればと思う。
▼参加者	家庭菜園をやってるが、とれたものをどうしようと困っている人もいる。全部収穫できないで捨てちゃうという話も聞く。
(市長)	持ってきて配るのが楽しいという人もある。食べることは重要。 一緒に頑張っていければと思う。
▼参加者	鹿がすごいが、駆除はどうしたら良いか。
(市長)	今年は鹿が多い。 箱罾も設置している。 追っていても、最後泳いでいくようだ。
▼参加者	上川大雪酒蔵で採用され、9月1日から出勤するという人の話を聞いた。 昨日、仕事で旭川の男山にいったときに、結構な人が来ていた。新しく工場ができて、古いところには資料館もあり、近くの小さいハウスではお酒の試飲ができた。 外で湧き水を汲むところもあった。 流氷館近辺では、元々桜の木があり、桜祭りをやっていたが、今回の酒蔵も、近くに人が集まれるような何かがあると、散歩

	で行ったり、観光客をためる展開ができと思っている。
▼参加者	天空の郷クラブで、ボランティアで枝や伸びた草を切った。 やれることはボランティアでやっている。
(市長)	ありがとうございます。5月の桜が咲いた頃に花見酒ができればと思う。
▼参加者	あの辺りの景観をどうしていくか疑問だった。
(市長)	あの辺の木は切って大丈夫なのか。
▼参加者	大丈夫。切っておく。
(市長)	本当に良いエリアだと思う。
▼参加者	市でやってくれるのもいいが、やってくれそうな企業を誘致していただければとも思う。
▼参加者	市街地から丸善団地に入る道路法面の、松林が気になっている。 歩道も松林に被さっているので、計画を立てて綺麗にしていきたい。
(建設港湾部長)	山下通りから丸善団地に入ってくる道路の法面については、 見通しが悪いので草刈りの話を昨年受け、管轄である道に話を したが、1年に1度の草刈りが手一杯の状況。
▼参加者	景観は変えていただきたいと思っている。 車道は大丈夫だが、歩道の除雪もうまくされていない。
(建設港湾部長)	歩道全ての除雪ができないのが実情。 メインの通学道路に限って対応させていただいている。
▼参加者	ここに登ってくるところの小さい祠で、誰か個人の方が掃除し

ているようだが、草が入ったゴミ袋が置いたままになっている。

(市長)

ボランティア袋をここに入るときに見た。

▼参加者

草とか、掃除したものが置いたままになっているようだ。

(建設港湾部長)

確認させていただく。

▼理事

他に意見があればいただきたい。

▼参加者

市役所後地の活用で話が動いていると思うが、土地交換で開発とかあの气象台が市の土地になった時にどういった使い方を想定してるのか、どういう風に活用していくか。

(市長)

まだ何も決まっていない。
概算要求が上がったが、予算化されておらず、国で事業化できていない。
事業化ができてない段階で、市が国の仕事に対して思惑を言うことは控えたい。